

東京・文学踏査 ～晶子生誕の地から、晶子終焉の地へ～

鼎談〈晶子・寛と啄木の魅力を語る〉

与謝野寛・晶子夫妻の終焉の地で、昭和期の晶子と寛の文業の意義を考える機会に感謝しながら、近代詩歌の黄金期を形成した晶子・寛と石川啄木との交流を通して、三人の魅力について大いに語り合います。

日 時 2026年9月21日(月・祝) 14:00～15:30

場 所 セシオン杉並展示室(東京都杉並区梅里1丁目22-32)

定 員 60名 ※先着順

参加費 無料

主催：与謝野晶子倶楽部
杉並区立郷土博物館

【出演者プロフィール】



◇三枝昂之(さいぐさ たかゆき)

歌人・評論家。山梨県生まれ。歌誌「りとむ」発行人。山梨県立文学館館長。日本経済新聞歌壇欄選者。歌集『水の覇権』、『農鳥』、『遅速あり』他。歌書『啄木ーふるさとの空遠みかも』『昭和短歌の精神史』、『前川佐美雄』、『佐佐木信綱と短歌の百年』、新潮選書『百年の短歌』他。



◇今野寿美(こんの すみ)

1952年東京都生まれ。79年角川短歌賞受賞。『世紀末の桃』(現代短歌女流賞)など十歌集のほか『24のキーワードで読む与謝野晶子』、編著『山川登美子歌集』(岩波文庫)、『私の生い立ち』(同)、現代語訳『みだれ髪』(角川文庫)などがある。『りとむ』編集人。宮中歌会始選者。



◇太田 登(おおた のぼる)

1947年、奈良市生まれ。文学博士、専攻は日本近代文学。天理大学名誉教授、与謝野晶子倶楽部会長。主要著作、『啄木短歌論考』(1991年八木書店)、『与謝野寛晶子論考』(2013年八木書店)



晶子とミニコンサート&交流会

主催：与謝野晶子倶楽部(東京支部会)

日 時：2026年9月22日(火・祝) 12:00～14:00

出演者：若谷佳美(朗読)、ヴォーチェ・コン・カローレ(晶子を歌う会)

場 所：ライブハウスレストラン「BLUE MOOD」

(東京都中央区築地5丁目6-10浜離宮パークサイドプレイス1階)

定 員：40～100名 会費：5,000円(ランチ料理、飲み物込み)

内 容：晶子童話・短歌(朗読&ピアノBGM)

晶子の詩歌「君死にたまふことなかれ」その他。

「与謝野晶子の百首かるた」や晶子の本も、抽選でプレゼントします。



申込み、問い合わせ…①「鼎談」か「晶子とミニコンサート&交流会」の区分②氏名③住所④一般か会員の区分

⑤電話番号⑥メールアドレスを明記の上、下記までお願いいたします。

〒590-0078 堺市堺区南瓦町3-1 堺市文化課内与謝野晶子倶楽部事務局 電話：072-228-7143

E-mail: info@yosanoakiko-club.com

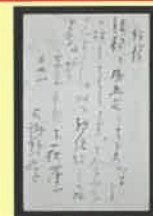
・「晶子とミニコンサート&交流会」参加費については、お申し込み後に振込先をご案内(郵送)いたします。

令和8年度 杉並区立郷土博物館特別展「与謝野晶子の杉並時代」

与謝野晶子は昭和2年から亡くなるまで、生涯最後の15年を杉並区荻窪で暮らしました。昭和前期という激動の時代に晶子が何を考え、どのように生きたのか。さかい利晶の杜・与謝野晶子記念館の特別協力のもと、晶子の杉並時代を振り返ります。

◇会期：2026年9月19日(土)～11月23日(月・祝)(予定)

◇場所：杉並区立郷土博物館(東京都杉並区大宮1丁目20番8号)



大村呉楼宛葉書



満蒙遊記